

- 東海市は、名古屋市近郊にあり森林面積が少なく、愛知用水等を通じて水が供給されており、水源地の森林の恩恵を大きく受けている。水源地にあたる長野県木祖村の協力のもと、森林環境譲与税を活用し水源地の森林整備、木材利用を促進していく。
- 令和7年度においては、森林環境譲与税を活用して、市内小学校1校の教室背面ロッカーを長野県産桧材を使用し制作された教室背面ロッカーに更新をした。

□ 事業内容

小学校の教室背面ロッカーの更新事業

- ・長野県木祖村が、長野県産桧材を使用して作成している教室背面ロッカーを購入し、市内小学校1校の教室背面ロッカーを更新。

【事業費】17,534千円（うち譲与税13,864千円）

【実績】木材使用量22.7㎡

□ 取組の背景

- ・子ども達に木材の温かみを感じてもらうと共に、老朽化が進んでいる教室背面ロッカーを計画的に更新するため。



（更新した教室背面ロッカーの様子）

□ 工夫・留意した点

- ・子ども達が日常的に使用する教室背面ロッカーの設置に活用すると共に、設置場所や子ども達に合わせた木材の温かさと香りの溢れるオーダーメイドの背面ロッカーとしている。

□ 取組の効果

子ども達からの声

- ・木の香りに包まれて朝から気持ちが良い。
- ・一人用に区切られたロッカーで使いやすい。
- ・木の色が明るくて教室が明るい雰囲気になった。
- ・掃除道具入れもきれいになり、使いやすくなった。

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：13,864千円		②私有林人工林面積（※1）：6ha	
③林野率（※1）：2.0%	④人口（※2）：113,787人	⑤林業就業者数（※2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より